

U10 シティーオブロックス (アイダホ)

シティーオブロックスの岩場はアイダホ州に位置するがユタのソルトレイクシティから3時間半で着く為多くの人はソルトレイクからアプローチしている。岩質は花崗岩であるがジョシユアソリーなどの砂漠の雰囲気と違い、草原の丘陵地帯に岩峰が無数に点在している。この特徴として多くの岩峰は片面がなだらかで反対側の面が傾斜がきついものが多い。花崗岩と聞いただけで時代遅れの感があるがここもそれを隠せない。一時期トニーヤニコが多くのルートを開いたドリフィンなどの高難度エリア(現在プライベートエリアの為登攀禁止)もあるがほとんどのルートは現代的なものではなく日本に喩えるならまさに現在の小川山の状態である。しかし低グレードのルートにはすばらしいラインが多くある。特に各岩峰には1ピッチもしくは2ピッチでいわゆる岩峰の頂上に登ることが出来るのでぜひ登ってみてほしい。きっと忘れかけていたクライミングの原点を思い出すことが出来るだろう。難しさを追及しないのであればお勧めのエリアである。それを知ってかどうかは知らないが今でも多くのクライマーが訪れている。岩と雪138号で大岩氏が紹介しているのでそちらも参照してほしい。

岩質

花崗岩

ルート

各岩峰にまんべんなくルートが築かれている。各岩峰ともそれ程離れていないので日陰と日向などうまく組み合わせ移動できる(岩峰を渡り歩くこともできるが離れている所は車で移動する)。グレードはかなり甘目。特に5.11 後半から5.12 前半が特に甘い。エッジを使い足で登って行くパターンが多いがムーブのシークエンスが解らなければ難しく感じるかも知れない。その他クラックなども多くありさまざまなパターンを楽しむことが出来る。しかしいわゆるドッペリのルートはほとんど無い。多くのルートはボルトが打たれており安心できるが、一部ナチュラルプロテクションが必要。またルートの核心が終わって最後の易い部分にランナウトするルートが多い。ドリフィンなどを始め一部のエリアはプライベートエリアの為登攀禁止となっている。私が訪れた時は1991年でこの時は問題はなかった。柵を乗り越えて放牧された牛の横をすり抜けていくのでさまざまな問題が出てきたのである。しかし今でもこっそりとここを訪れているクライマーが多いと聞く。いつまでこの処置が取られるか解らないが私たちよそ者(外国人)はやはりこの処置は守った方が良さそう。

宿泊

91年の時点ではキャンプ場はなくクライマーは適当に林道の脇の岩陰に張っていた。しかしその後キャンプ場ができた(1日1サイト5泊、トイレと水場のみ)。モーター利用なら1時間ほど離れたバーリーまで行かなければ無い。しかし買い出しもバーリーまで行かなければならないのでそれほど不便ではない。

シーズン

春から秋。私は9月に訪れたが天候は安定しておりベストシーズンだった。また標高が若干高いので夏でも日陰は丁度良い。

ショッピング

車で5分下った所に小さな村アルカがある。そこに雑貨屋があり御土産物やちょっとした行動食、チョークトポなどが手に入る。大岩氏も書いてあったがこの主人はとても愛想が良く山盛りしてくれるアイスは食べる価値がある多くのクライマーは暑い昼間はレストがてら食べに来ている。その他の物は1時間ほど離れたバーリーまで行かなければならない。この街はそれほど大きくはないが必要な物はすべて手に入る。ただクライミングショップについてはトポに紹介はされているが、ソルトレイクで最初に買った方が絶対良い。

アプローチ

ここではSOLT LAKE CITYからを紹介する。1-15号を北に向い、途中1-84号を西へ入る。そしてMALTA,ALMOなどを経由するのが一番早い。CITY OF ROCKS内は舗装されておらず岩峰の間をぬうようにダートが続いている。各エリアへは車を横付け出来る所もあれば若干歩く所もある。岩方があまりに多い為最初はどこがどの岩峰か解りづらいかも知れない。